

ご家族のギャンブル問題で悩む方へ

依存症（ギャンブル・ネットゲーム等）家族教室のご案内

ギャンブルやネットゲーム等を続けているうちに、**やめたくてもやめられない「依存症」という病気**を発症する可能性があります。依存症になると、本人が「やめたい」と思ってもやめられずに、仕事や学業、家族よりもギャンブルやネットを優先していくようになります。本人が学業不振、失職、借金などの金銭トラブルや家族への暴力、自殺未遂などの問題を起こし、その尻拭いのために家族が振り回されていくことがあります。依存症は家族を巻き込む病気です。巻き込まれた家族は本人のために何とかしようと一生懸命ですが、依存症という病気を知らずに対応すると逆効果になることがあります。まずは**家族が依存症について理解することが、本人の依存症からの回復の第一歩**となります。精神保健福祉センターでは家族教室を開いていますので1人で悩まずにご相談ください。※家族教室の参加は事前予約は不要です。



依存症って？

やめたくてもやめられない脳の病気。薬物やアルコールだけでなく、ギャンブルなどでも依存症になることがある。

依存症の症状

※依存を続けるために以下のような行動をすることがあります

- 依存症であることを認めない。
- 借金を繰り返す。
- 周囲に嘘をつく。
- 欠勤をしたり、約束をやぶったりする。
- 家族を脅したり暴力を振るう。

本人の依存症を悪化させてしまう家族の対応

- 叱責や注意を繰り返す。
- 依存症が病気であることを認めず、本人の人格や意思の問題にする。
- ギャンブルをしないように監視する。
- 本人の借金を肩代わりする。
- 本人の起こしたトラブルを家族が尻拭いして解決しようとする。

第4月曜日 13:30～15:00 精神保健福祉センター3F

7月23日（月） 依存症について知ろう！

8月27日（月） 本人の行動を知ろう！

10月22日（月） コミュニケーションを変えてみよう！

11月26日（月） GAからのメッセージ

1月28日（月） 暴力への対応

2月25日（月） ギャマノンからのメッセージ

3月25日（月） 家族自身の健康のために